

学校名	坂戸市立勝呂小学校
実施日	令和5年2月

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。
 評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない
 ○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	A	○各委員会等を開催し、共通理解を計りながら組織的に進めている。 ○教育活動において子供たちの足りない部分や伸ばしたい部分を分析・調査し、具体的に指導する内容を計画されている。 ○校長支持伝達等で、毎回方針が示されている。 △全体で共通理解をした方がよいと思うことが担当者だけの話し合いになってしまったことがあった。大事なことは、全体で共有したい。	A	・学校運営がしっかり示されているが、昨年同様全体の情報共有の面で改善が必要と思われる。また、学校だよりの発行により教育活動が地域にもよく分かりとても良い。 ・校長指示伝達がどこまで浸透しているか、共有したい。 ・教職員を見てみると、共通理解のもと協力して取り組んでいると思う。 ・子供たちを分析・調査し、具体的に指導する内容を計画している。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	A	○全員に防災マニュアルが配布されており、対応できるように準備されている。 ○地震が起きた時の対応がどこのクラスもよくできている。今後も、シェイクアウト訓練を継続していきたい。 △実際に、火事や地震が起きた時の対応が迅速にできるか、不安に思う。職員研修も定期的に行っていきたい。	A	・防災マニュアルが全員配布されている。災害対応について準備がよくなされている。社会情勢等も勘案して今後もアップデートしてほしい。 ・防災マニュアル活動で毎回訓練しその結果から見直しだけだけ行動できたか検証があると思う。 ・学校は、警察官や消防官等呼んで定期的に研修を積んでいくしかない。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	○昨年度よりも、全体的に退勤時間が早くなったように感じる。管理職の先生方からの声掛けや「カエル会議」の成果が出ている。 ○計画年休の実施により、気兼ねなく休みが取れるのがよい。 △ノー残業デーを設定しても、朝早く仕事をしたり、持ち帰って仕事をしたり、実際の業務が減らされていなければ意味がない。 △会議や行事の精選や見直しは、まだまだできると思う。	B	・計画年休の実施により先生方の休みが取りやすくなっているが、根本的な業務の見直しにより勤務体制を改善する必要がある。 ・計画、目標に向け、実行がうかがえる。実際に実践していくことが大事だと思う。 ・職員は、学年の担当によっても仕事内容が異なるし、各部を担当する内容によっても異なるので、毎週1回でも日を決めて実行するしかない。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	A	○電子黒板やクロームブックを活用し授業改善を行っている。 ○学力調査から子供たちの学力について分析し、研修などで教員全体で授業改善について考える機会がある。 △学び合い等を意識した授業が全ての授業で浸透しているとはいえない。もっと、先生方通しの授業見学が必要と感じる。 △互いに授業を見合う場がもっとあるとよい。	A	・登校できない児童に対して、可能な限りリモートで授業をするなど工夫している。クロームブックも有効活用していた。 ・電子黒板が導入され、子どもたちが興味をもち先生・児童も授業改善されている(授業参観で楽しく明るい雰囲気であった。) ・教員は色々工夫して、授業に取り組んでいると思う。あとは、各家庭の協力も必要不可欠である。各子どもの努力も大切になる。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	A	○児童によるいじめ0宣言はとてもよかった。 ○スクールロイヤーによるいじめの授業が効果的だった。 ○支援員さんにも入っていただき、個に応じた指導に取り組んでいる。 ○授業参観で一斉道徳授業を行った。保護者にも様子が伝えられた。 △2学期より算数の少人数指導ができず、苦手な児童は苦しかった。	A	・「ういてまで教室」は、命の大切さ、自分の身を守る大事な授業なのでとても良い。また、定期的にお楽しみ会の開催など授業だけに終わらず児童がワクワクする取り組みもとてもよい。 ・児童によるいじめ0宣言はとてもよい事で一人ひとりが声を出して皆の前で体験することが意識づけの成果になる。 ・これも職員だけでは限界である。各家庭の協力が必要である。 ・授業参観で一斉道徳授業を行った。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	○あいさつが身につけており、授業や学習活動に対しても前向きである。 ○少しずつではあるが、子どもたちからの挨拶が増えてきた。 △挨拶も言葉遣いも、個人差が大きい。 △自分の考えを発表することができない児童が多いため、グループ活動、ペア学習の充実を図る。	A	・「ういてまで教室」は、命の大切さ、自分の身を守る大事な授業なのでとても良い。また、定期的にお楽しみ会の開催など授業だけに終わらず児童がワクワクする取り組みもとてもよい。 ・児童によるいじめ0宣言はとてもよい事で一人ひとりが声を出して皆の前で体験することが意識づけの成果になる。 ・これも職員だけでは限界である。各家庭の協力が必要である。 ・授業参観で一斉道徳授業を行った。 ・コロナ禍となって3年になり、能動的に動くことに慣れていない児童が見受けられるため、最低限の接遇は守りながらも「元気よく能動的に動く児童」の取り組みが必要だと思う。 ・進んで挨拶ができていて、横断歩道でちゃんと会釈していた。授業もとても前向きに感じた。 ・ここ数年、げんき教室を通して児童を見守っていますが、児童は落ち着いた様子で取り組んでいる。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	A	○倫理確立委員会を定期的に開催し、不祥事防止に努めた。 ○チェックリストや演習をすることで、振り返りや意識づけができた。 ○不祥事防止にチェックシートや倫理確立委員会を定期的に行った。 △倫理確立委員会は、学校に関わる人すべて支援員、市職員も実施したほうが良い。	A	・事故、不祥事防止のための積極的方策のための取り組みをしている。 ・不祥事防止にチェックリストや倫理確立委員会があるが職員に活かされた報告があるとよい。 ・職員の共通理解のもと、意欲的に取り組んでいると思う。 ・倫理確立委員会の開催
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切にしている。	A	○毎月の教育相談日や個人面談の設定により、保護者の考えも聞きながら児童の成長を確認することができた。 ○教育相談、保健室にて不登校児童への対応を、担任と連携を取りながら進めている。 ○教員間で連携して子供たちの悩みや相談に適切に対応している。 △学校全体としての取り組み(共通理解)がさらにできたらよいと思う。	A	・教員がしっかりと児童と向き合って接してくれている。 ・教員間で連携して子どもたちの悩みや相談に適切に対応しているのがよいが、子どもの考えを優先していただければと思う。 ・共通理解をもって、取り組まれていると思う。 ・「さん」付けで呼ぶことにより一人ひとりを大切に思うように感じる。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	○通級指導教室が本校にあることで、子どもたち一人一人への配慮の幅が広がった。 ○配慮が必要な児童の保護者への面談等を計画的に行った。 ○特別支援教育についての研修があったおかげで知らなかったことを知ることができた。 △教室の掲示物を配慮して学級は少ない。	A	・通級指導教室の制度により配慮の幅が広がったことはとても良い。 ・特別支援教育の研修で知らなかったことの情報があり指導に活かされているのがよい。 ・特別支援学級の担任は、孤立することなく全職員が協力して対応にあたるのが大切である。 ・特別支援学級と通常学級との交流がされている。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	○安全点検や備品整理が定期的に行われている。 ○コロナ予算でたくさん物品を購入できた。ありがたい。 ○清掃週間等では、清掃主任による放送でいつもきれいにしようという喚起ができた。 △黙動清掃について、もう少しがんばらせた。	A	・安全・安心な環境づくりを子どもたちも自分ごとにするこことによりいっそう学校に愛着が湧くと思う。 ・トイレ改修工事が行われ、良い環境整備を進められている。また、備品を定期的に整理し、廃棄や購入については計画性がある。 ・市の教育にける予算が少なすぎる。もう少しお金をかけて、学校教育の環境に整備してもらいたい。(市に対して要望)
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	A	○防犯や感染症防止の注意喚起を手紙やマメールにて速やかに行なった。 ○ホームページの更新を行っている。 ○学校のホームページに給食の写真を掲載しており、食育活動も行っている。 ・ホームページに、学校行事などの掲載もできると良い。	A	・防犯、事務連絡等頻繁に情報発信し、学校と保護者の情報共有ができています。 ・ホームページの更新を行っているのがすばらしい。更新には活動、実施、新しい情報と大変と思うが期待する。 ・学校だよりを読んでみると、学校が取り組もうとしていることがよく分かる。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	○学校応援団の方に、校庭の整備、読み聞かせ、学習補助等をしていただいた。 ○保護者の方に丸付けや聞き取りをお願いし、家庭学習にも協力いただいている。 ○動物園の獣医さんにリモート授業をしていただいたり、町たんけんてたさんの保護者の方の協力を得たりすることができた。 ・こういった状況下でのなかなか招聘できないが、地域の力をもっと生かしていけるとよいと思う。	B	・学校の授業に限らず、地域に根ざした工夫のある教育活動を展開している。 ・動物園の獣医さんにリモート授業や町探検で、保護者の協力を得るところが連携につながってよい。 ・ここ数年、コロナの影響もあるが、積極的に地域の人材を活用しようとする姿がみえてこない。(授業日数などで余裕がないのも分かるが…)
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	○中学校の先生の授業をしていただけるのは、高学年にとって良い。 ○スタディウィークを活用し、家庭学習の充実を図っている。 ○学校経営目標・教育目標を職員室に職員が見える所に掲げている。 △コロナの関係で、小中連絡会を実施することができなかった。来年度は、ぜひ実施したい。 △スタディウィークがあまり効果をなしていない。小学校も、高学年などは、単元テストの目標を定め、それに向けて勉強させるなど、目的をもって勉強させたい。	B	・スタディウィークの取り組みについては効果が図れないため、工夫が必要。 ・教育目標があるが実施が難しいのが残念である。 ・授業日数に余裕があれば、6年生は中学へ行き学習や部活の様子等を見ることも大切だと思う。 ・スタディウィークの目的をもう少し明確にし実施することが必要。